

## 第 12 期科学技術・学術審議会学術分科会の各部会等における 審議状況と検討課題

### 研究環境基盤部会

#### （1）主な審議内容

- 学術研究の進展や国際的な研究動向に応じた、全国的観点から推進すべき学術研究基盤の整備について、令和 5 年 6 月に「中規模研究設備の整備等に関する論点整理」を取りまとめた。
- 国立大学の共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・共同研究拠点について、第 4 期中期目標期間の中間評価要項及び令和 7 年度からの新規認定要項に係る審議を行った。また、公私立大学の共同利用・共同研究拠点について、中間評価を行うとともに、令和 7 年度からの新規認定要項について審議を行った。
- 学術研究の大型プロジェクトについて、年次計画に基づく評価等を通じて各プロジェクトの進捗管理を行った。また、前期に取りまとめた策定方針に基づき公募・審査を行い、「ロードマップ 2023」を策定した。
- 国立大学法人運営費交付金（学術研究関係）について、配分等に係る審議を行った。

#### （2）検討事項・課題及び今後の方向性等

- 学術研究の進展や国際的な研究動向に応じた、全国的観点から推進すべき学術研究基盤（中規模研究設備）の整備について、引き続き検討を行う。
- 国立大学の共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・共同研究拠点について、第 4 期中期目標期間における中間評価を実施するとともに、令和 7 年度からの新規認定に係る審議を行う予定。また、公私立大学の共同利用・共同研究拠点及び国際共同利用・共同研究拠点について、中間評価、期末評価を実施するとともに、令和 7 年度からの新規認定に係る審議を行う予定。
- 学術研究の大型プロジェクトについて、年次計画に基づく評価等を通じて各プロジェクトの進捗管理を行う予定。
- 国立大学法人運営費交付金（学術研究関係）について、配分等に係る審議を行う予定。

### 研究費部会

#### （1）主な審議内容

- 「第 11 期研究費部会における審議のまとめ」（令和 5 年 2 月）を踏まえ、科研費の更なる制度改善に向けて審議を行った。
- 具体的には、若手・子育て世代の研究者がより挑戦的・独創的な研究に取り組める環境を整備するため、研究の進捗に応じた研究費の柔軟な使用によって研究の質を抜本的に高める基金化の推進について審議を行った。

- また、研究者コミュニティの持続的発展や男女共同参画の推進に向けて、「研究活動スタート支援」・「若手研究」の応募要件の緩和（未就学児の養育期間を配慮期間として追加）等に係る審議を行った。
- そのほか、基盤研究の助成の在り方や持続可能な審査システムの構築等に係る審議を行った。

## (2) 検討事項・課題及び今後の方向性等

- 持続可能な審査システムの構築に向け、1課題当たりの充足率の向上や研究時間確保等の観点に基づく研究種目の整理・統合等について議論するほか、基盤研究の助成の在り方を含む研究費の枠組みに関する検討を行っていく予定。
- また、科研費予算の規模といった制度全体の在り方や、質・量の改善・充実方策に係る検討を行っていく予定。

## 人文学・社会科学特別委員会

### (1) 主な審議内容

- 人文学・社会科学を軸とした共創による共同研究について、その多様な意義や共同研究を推進するための方法・体制・仕組み、研究者のキャリアパスに与える影響、成果把握と評価の方法に関する議論を行った。
- 人文学・社会科学のデータ基盤の整備に関連して、研究データの利活用やデータ規格に関する考え方及びその整備、オープンサイエンスへの対応、研究データの作成・保存を行い研究者を支援する人材の必要性とその育成について議論を行った。
- 人文学・社会科学の研究成果のモニタリングについて、国際ジャーナル論文・国内ジャーナル論文に関する報告を行うとともに、書籍や SNS 等を活用した新たなモニタリング指標についても意見を伺った。
- 戦略性を持った人文学・社会科学の研究成果の国際発信や、人文学・社会科学の発信力の強化に向けた広報の重要性とそのための機能強化について、審議を行った。
- 第16回・第17回人文学・社会科学特別委員会の議論を踏まえて、「人文学・社会科学の振興に向けた当面の施策の方向性について」を取りまとめた。

### (2) 検討事項・課題及び今後の方向性等

- 第12期のこれまでの議論の内容を踏まえて、論点の整理を実施し、人文学・社会科学の振興に必要な方策について検討を進める。